

平成 23 年度 図書館モデル公開授業 研究実践校 札幌市立東光小学校 第 3 学年の実践

本は友だち ～食べ物のひみつ教えます～

学習のねらい

- ・ 学校や地域の図書館へ行き、図書館では来館した人が、探している本を見付けるために、どんな工夫がされているかを知る。
- ・ 学校の図書館との違いや共通点を意識しながら、中央図書館の利用方法を知る。
- ・ 食べ物の秘密について調べる活動を通して、必要な資料を探したり、これまでに学習したり読んだりしたことのある作者の別の作品を探して読む。
- ・ 図書ボランティアの読み聞かせや本の紹介を聞き、今後の読書活動への意欲をもつ。

主な学習活動



- ・ 中央図書館の職員の方から、中央図書館についての話や利用のきまり・本の借り方・返し方などの説明を聞く。



- ・ 4人1グループとなり、東光小学校開放図書館のボランティアの方とともに本の並び方の違いを比べながら「こどもの森」を回り、一人一冊本を選び自分で借りる。



- ・ 検索機の種類と使い方を知り、探している本を見付けられない時の探し方を知る。
- ・ 講堂において、東光小学校図書ボランティアの読み聞かせや本の紹介を聞いたり、3学期の総合的な学習の時間で行う『手話』の歌を覚えてもらったりしながら、一緒に歌う。

授業の成果と課題

- ・ 中央図書館の蔵書の種類や数の多さに驚くとともに、普段利用している開放図書館とは本の並び方が違うことにも気付くことができた。作者ごとに本が並んでおり、いつも親しんでいる作者の高学年向けの作品などにも出会うことができ、興味をもって本を探す姿が見られた。帰校後、紹介された本を探したり、新しいジャンルの本に挑戦したりする子が見られるようになった。
- ・ 「こどもの森」の地図が、子どもたちにとって本を探す上でとても便利だった。
- ・ グループ活動を取り入れたことで、読書の苦手な子も本を探すことができた。友だち同士で交流し合い、朝読書で読む本を選んだりする姿が見られた。
- ・ 調べたいことを、どの本・どのジャンルを選んで探せばいいのか困っていた子に対する適切な指導という点では十分とはいえなかった。